

<目指せ！1等米比率90%以上継続！～JA富山市米品質向上生産運動展開中～>

◎コシヒカリの生育状況

JA 富山市管内水稻生育調査結果(6月14日)(管内基礎ほ6ほ場平均)

6月入ってから曇天が続き、生育がやや緩慢になりました。そのため、平年に比べて、草丈:短い、茎数:やや少ない、葉齢:展開が遅い、葉色:平年並となっておりますが、茎数は十分に確保されています。

	草丈 (cm)	茎数 (本/株)	茎数 (本/m ²)	葉齢 (葉)	葉色
本年	34.2	18.9	390.6	8.4	4.3
昨年	33.6	18.6	371.3	8.6	4.3
平年	38.4	20.6	404.3	8.9	4.4

○中干しを開始していないほ場では直ちに実施しましょう！

・中干しが不十分な圃場は、繰り返し田干しを実施しましょう。

中干し後の水管理

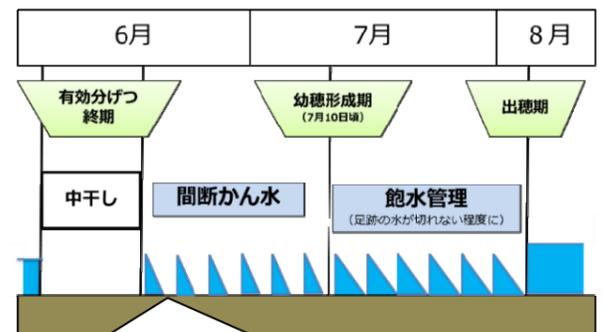
【中干し後～幼穂形成期】

- ・「間断かん水」を行い、幼穂形成期頃までに足跡の深さが3cm程度のかたさに仕上げましょう。
- ・生育量が多い場合は、過剰籾数や倒伏を防ぐために、田干し(落水期間)を長くしましょう。

【幼穂形成期以降】

- ・飽水管理(田面に常に水がある状態)で、稲の活力維持に努めましょう。

水管理のイメージ(コシヒカリ)



葉色の急激な低下を防ぐため中干し後の間断かん水は、**乾かしすぎないように注意!**

「てんたかく 81」の穂肥

【基肥一発肥料栽培の場合】⇒原則として穂肥は必要ありません!

- ・過剰な追加穂肥は、稈長が伸長し、倒伏を助長します。

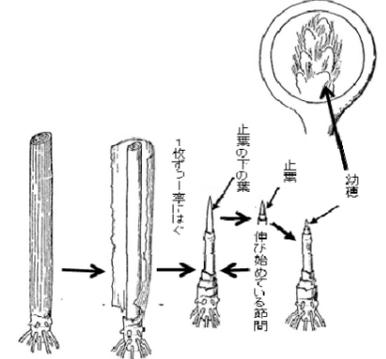
【分施肥栽培の場合】

- ・幼穂長1～2mmを確認したら、1回目穂肥を施用しましょう。

《穂肥施用の目安 (5月連休田植えの場合)》

	1回目(6/24日頃)	2回目(1回目の10日後)
追肥3号	10～12 kg/10a	12～13 kg/10a
LP 追肥 38号	18～20 kg/10a	-

『幼穂の確認方法』



草刈りの徹底

注意

R3年産早生の格下げの主要因は、カメムシによる斑点米です!

- ・カメムシは、畦畔等の雑草の穂を好みます。畦畔等は、雑草の穂が出ないように草刈りを徹底し、カメムシ類が発生増殖しにくい環境づくりに取り組みましょう。
- ・アカスジカスミカメは、水田内のノビエやホタルイの穂を好み、産卵し増殖するので、水田内に雑草が見られる場合は除草に努めましょう。
- ・出穂直前や出穂後の草刈りは、カメムシ類を水田内に追い込むので草刈り運動期間中に草刈りを実施し、地域全体でカメムシ類の密度を減らしましょう。

<水田畦畔等草刈り運動期間 7月1日～7月10日[一斉草刈日:7月2日(土)～3日(日)]>

イネ科雑草が出穂している畦畔はカメムシの生息地となるため、草刈りを行いましょう!



【主な斑点米カメムシ類】



【斑点米】



玄米 1000 粒に2粒混入すると2等米に格下げ!!

○農作業の際は、適切な水分・塩分補給やこまめな休憩など、熱中症対策を徹底しましょう!

★富山市農協ホームページで営農情報の提供を行っています★<http://www.ja-toyamashi.or.jp/jouhou/> で検索!